

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和6年度)

活動テーマ	☐ 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 ☐ 子ども・若者世代を支援する活動 ☒ 世代間の交流を進める活動 ☒ 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	震災に備えてつながるカフェ		
団体名	震災に備えてつながる会 (2024 年 7 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	653,832 円		
助成額(当初交付)	685,000 円	助成額(決算)	653,832 円
活動目的	震災に備えて定期的な集まりを通じて、人々がゆるやかにつながり、顔の見える関係を地域に創り出す。		

1 活動の実施状況

* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	<第1回>2024年10月13日(日)11:00-14:00 場所:はら公園 参加者:66名 【周知対象者】ケア24成田発行の「成田だより(年6回配布)」配布先300部、コアメンバーによる手配り100部、団体スタッフによる配布100部、合計500部のチラシを成田西周辺に配布。 【参加者の状況】近隣高齢者(70~80代)が8割、公園に遊びに来た親子連れや、メンバーの家族のほか、障がいのある方も参加。 【活動内容】・防災士によるローリングストック展示、説明 ・簡易トイレづくり体験 ・自助力アップ勉強会(ローリングストックの重要性) ・震災時お役立ちワークショップ(新聞紙を使ったお皿づくりなど) 【感想等】震災時のトイレ事情への関心が特に高かった。防災食を初めて体験する人が多くいたが、様々な味付けの食事や菓子等があることを知るきっかけとなり、「購入したい」、「販売してほしい」という感想も寄せられた。障がいのある方と地域住民が交流する場面もあった。
	<第2回>2024年12月14日(土)11:00-14:00 場所:ケア24成田と同一建物の1階にあるデイサービス 参加者:38名 【周知対象者】第1回と同様 【参加者の状況】近隣の高齢者(70~80代)が8割、障がい団体NPOスタッフ・当事者も参加。 【活動内容】第1回と同様の内容 【開催時留意点】寒い時期のため、高齢者のことを考え、ケア24成田と同一建物の1階にあるデイサービスに協力してもらい、室内も併せて使用した。 【感想等】ケア24を初めて知った地域住民も10人ほど来場し、震災時に備えてつながりができてよかったとの感想があった。
	<第3回>2025年3月23日(日) 10:30-15:00 場所:浜田山小学校校庭 参加者:300名 【周知対象者】第1回の周知対象者のほか、浜田山小学校学区の全世代 折り込みチラシ(2/16発行新聞)3000部(予算外) * 前2回の参加者の8割が高齢者だったため、多世代交流となる対象者を意識した。 【参加者の状況】世帯(家族)単位での参加が多かった一方、高齢者の参加者が少なかった。 【活動内容】・自助力アップ勉強会 ・簡易トイレ作り体験 ・ペット相談ブース ・防災品コーナー ・高齢者相談ブース ・耐震相談ブース ・キャラクター(災害モンスター)を活用したカードゲーム ・大声大会 【開催時留意点】第1回、第2回を踏まえ、より幅広い世代の方々に参加してもらうため「お祭り形式」とした。 【感想等】「お祭り形式」にしたことで多くの子育て世代が参加し、若い世代への周知ができた。区防災課による「防災食の試食」で災害時の食を体験してもらうことができた。

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	・様々な世代の地域住民にイベント開催の周知や支援依頼をしたことで、これまでにない多世代間の交流やつながりができた。 ・活動期間は10月～3月の半年間であったが、ケア24成田への問い合わせが増えるなど、震災対策を話題にする地域住民が増えたと実感している。今回、「初めて震災対策について学んだ」という高齢者が多く、特に震災時のトイレについては関心が高く、いろんな感想が寄せられたことから、震災時の対策に対する意識改革につながったと感じている。多くの地域住民からは、「安心した」「またやってほしい」との感想をもらった。 ・大きな震災が続き、震災への関心が高い時期であったが、震災対策をメインにしたイベントへの集客は内容を工夫しないと難しいことを痛感した。 ・いろんな価値観があり、世代ごとに震災対策への関心事が違うことも原因の一つと考えられるが、第1回・第2回を通じて世代間の交流に課題があったことから、第3回では「お祭り」を前面に出したことで、防災食の試食コーナーなどで世代間交流が生まれた。 ・個人や世帯単位でのローリングストックの重要性や震災救済所の情報などを防災士から提供したことで、震災対策の「日常化」への関心が高まった、とする感想が多かった。
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	・今回、初めての取組みであり、準備期間が短かったこともあり、予算の配分が難しかった。当日の資料に経費が掛かることまで気が回らず、開催各回の予算執行のバランスや予算立てに課題が残った。 ・走り回る子どもと歩行が不安定な高齢者が、公園など屋外の広いスペースとはいえ同じ空間にいることによる運営時の安全対策の課題があった。いろんな世代の方々が、それぞれ安心安全に過ごせるイベントや震災対策を実施するにはより配慮が必要であると感じた。 ・様々な世代の方が開催する側として参加するためには、会合の開催時間の調整に課題が残った。全体としても集まる機会が少なく、リーダーと手伝う人という関係になり、一緒に活動・運営していることを感じづらかったのではないかと。世代が偏ったとしても、全体として集まる機会を確保し、情報共有できる体制づくりを構築したうえで今後は運営していきたい。 ・単独のイベントとして実施するのではなく、今後は震災救済所活動と連動したり、他の地域活動との連携を図り、より効果のある活動とし、継続できるようにしていきたい。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

収入		予算額(円)	決算額(円)	内訳
	ささえあい活動(長寿 応援ファンド)助成金	685,000	653,832	謝礼金・消耗品費・印刷費・使用料・その他
	計	685,000	653,832	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	震災に備えてつながるカフェ
-----	---------------

支 出	費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
	謝礼金等	50,000	50,000		コーディネート費
			うち 助成額	50,000	
	備品・消耗品費	328,000	310,990		タープ+タープ用重し各3セット、折畳椅子40台、折畳テーブル10台、箸・スプーン・衛生用品等の購入費 各物品が見積りより安く購入できたため、17,010円の減
			うち 助成額	310,990	
	交通費			うち 助成額	
	印刷費	212,000	212,000		チラシデザイン料、ポスター印刷費、チラシ印刷費 チェックシートデザイン料、印刷費
			うち 助成額	212,000	
	通信運搬費			うち 助成額	
	使用料・賃借料	78,000	70,909		車両レンタル料、駐車場料金 2回目の会場がケア24成田・成田デイでの開催となったため、運搬の費用がかからず7,091円の減
			うち 助成額	70,909	
	その他経費	17,000	9,933		行事保険費用 第1回のボランティア保険は加入期間の関係で、助成金からの支出が出来ず、7,067円の減
			うち 助成額	9,933	
				うち 助成額	
	計	685,000	653,832		執行率 (決算額/予算額) 95.4%
			うち 助成額	653,832	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

活動名	震災に備えてつながるカフェ
-----	---------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	☒ 充分できた ☐ ほぼできた ☐ あまりできなかった ☐ できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	☐ 充分できた ☒ ほぼできた ☐ あまりできなかった ☐ できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	☐ 適切であった ☐ ほぼ適切であった ☒ あまり適切ではなかった ☐ 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 ☐ 充分できた ☒ ほぼできた ☐ あまりできなかった ☐ できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 高齢者、児童を連れた30～40代の家族、学生などの数は少なかったが、多世代間の交流ができ、震災に対して、何をしたらよいのかが見えてきた。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗。
	☒ 広がった ☐ 多少広がった ☐ あまり広がらなかった ☐ 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 ・初めて参加し、大変参考になり、すぐ備蓄に取り掛かりたい。 ・仮設トイレの重要性を体感した。 ・企業として、社会貢献をうたってはいたが、住民の方々と一緒に参加でき、何より住民の方々の笑顔が見れて嬉しかった。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	・相当数の方々に相對することで、直接、意思を伝えることで、気持ちの変化が垣間見えた。 ・みんなで楽しくためになる手法は、地域防災活動を進めていく上で重要だと認識した。
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
・区の助成ということが、住民への信頼となり、共通認識や活動への理解が深まった。 ・助成金の活用により、活動が促進された。	
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和6年度)

活動テーマ	☒ 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 ☐ 子ども・若者世代を支援する活動 ☐ 世代間の交流を進める活動 ☒ 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	西荻・松庵だれでもどうぞのいすプロジェクト		
団体名	どうぞのいすの会 (2024 年 7 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	150,250 円		
助成額(当初交付)	176,000 円	助成額(決算)	150,250 円
活動目的	地域の協力を得ながら、誰でも気軽に座れる椅子を町の中に設置し、誰でも外出しやすい環境を作る。		

1 活動の実施状況

* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	(2024年11月29日) 材木店に協力・指導を得て、材木店内のレンタルスペースで木材の塗装 参加者9名(地域の協力者、民生委員、あんしん協力員、ケア24職員)
	(2024年12月5日) 同上スペースにて、国産檜二人掛け木製ベンチ5台の組み立て製作 参加者10名(地域の協力者、民生委員、あんしん協力員、ケア24職員) 5台の内、1台を西荻南の集合住宅前に承諾を得た上で設置
	(2024年12月20日) 地域の方に協力いただき、「だれでも座れる椅子」であることを表示するステッカーのデザインを考案し、ラミネート加工のステッカーを作成
	(2024年12月24日) 設置場所の承諾を得て、製作したベンチにステッカーを貼付し、4台のベンチを設置 松庵の個人宅前2台、松庵の町会会館前1台、介護施設前1台 また、すでに設置した1台のベンチについてもステッカーを貼付
	(2024年1月14日) 神明通り沿い酒店前の既存のベンチに「だれでも座れる椅子」マップへの掲載を依頼・了解を得る。同ベンチにステッカーを貼付。
	(2025年3月18日) 西荻窪の商店会に、「だれでも座れる椅子」マップへの掲載と既存のベンチにステッカーを貼っていただくようお願いに回る。
(2025年3月27日) 「松庵・西荻地域だれでもどうぞのいすマップ」1,000部を製作し、松庵の二町会宛てに回覧を依頼する。	

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	・高齢者をはじめとして、まちの中に椅子(気軽に座れる場所)を必要としている人々の要望に応えられた。 ・2人掛けの椅子を設置したこと、設置にあたり地域の協力者を募りながら活動を進めたことで、町の中に置かれた椅子が地域内の交流の場としても活用できる。
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

課題・活動予定	活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定
	・昨年12月末に設置し、寒い時期でもあり、まだ十分に活用されているとはいえないが、今後暖かくなり、マップなどで場所を周知し、広く椅子の存在をアピールしたい。 ・より多くの方々に知ってもらい、利用してもらえよう、既存のベンチに今回作成したステッカーを貼らせていただけるようお願いし、地域内に「だれでもどうぞ」の椅子を増やしていく。 ・ベンチの設置場所が個人宅前の場合もあるため、今後、防犯対策が必要と考えている。 ・町会パトロールのルートに加え、設置した椅子を見守ってもらい、安心・安全に使えることを確認していく。 ・マップの配布を通して、協力者を募り活動を地域に広げるアイデアを募集するなど、引き続き、地域に協力を呼びかけていく。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	176,000	150,250	椅子製作指導謝金、椅子材料費、ステッカー・マップ印刷費、椅子運搬費、椅子製作スペース使用料、椅子製作時ボランティア保険
	団体負担金			
	活動収入			
	その他の収入			
	計	176,000	150,250	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	西荻・松庵だれでもどうぞのいすプロジェクト
-----	-----------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
	謝礼金等	40,000	20,000		椅子製作指導謝金:10,000円×2名=20,000円 ※ 1日10,000円×各日2名×2日を予定したが、各日1名となったため
			うち 助成額	20,000	
	備品・消耗品費	99,000	97,763		加工済み木材費:1台15,510円×5台=77,550円 ビス・塗料・刷毛・紙やすり・作業衣・軍手:18,673円 ブルーシート・養生テープ:330円 ワイヤーロープ・南京錠・両面テープ:1,210円
			うち 助成額	97,763	
	交通費				
			うち 助成額		
	印刷費	19,000	18,077		ステッカー印刷費(50枚):9,849円 マップ印刷費(1,000部):8,228円
			うち 助成額	18,077	
	通信運搬費	1,500	1,100		椅子運搬費(西荻北～松庵):1,100円
			うち 助成額	1,100	
	使用料・賃借料	15,000	12,650		下小屋(椅子製作スペース)賃借料: 2024年11月29日 2時間35分×1,200円/1時間=3,100円 2024年12月5日 1日 8,400円 消費税(10%)1,150円
			うち 助成額	12,650	
	その他経費	1,500	660		ボランティア行事保険(当日参加型)保険料:33円×1日10名×2日(①2024年11月29日②同12月5日)=660円
			うち 助成額	660	
			うち 助成額		
	計	176,000	150,250		執行率 (決算額/予算額) 85.4% 予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること
			うち 助成額	150,250	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。 ☒ 充分できた ☐ ほぼできた ☐ あまりできなかった ☐ できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。 ☒ 充分できた ☐ ほぼできた ☐ あまりできなかった ☐ できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。 問3 申請時の収支見込は適切でしたか。 ☐ 適切であった ☒ ほぼ適切であった ☐ あまり適切ではなかった ☐ 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。 ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 ☒ 充分できた ☐ ほぼできた ☐ あまりできなかった ☐ できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 ・町中に木製ベンチを設置することができた。 ・既存のベンチにも作成したステッカーを貼り付けし、「だれでも座れる椅子」マップへ掲載し、周知することができた。 ・地域に住んでいる一般の方への周知にはまだまだ時間がかかる。 ・町会で行っている防犯パトロールで、設置した椅子の状態に目を配っている。 問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。 ☒ 広がった ☐ 多少広がった ☐ あまり広がらなかった ☐ 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 ・椅子製作の参加者:「DIYは得意ではなかったが経験者から教えてもらい、達成感を得られた」、「初めて体験し楽しかった」 ・椅子の設置協力者:「自分たちだけが座っているのはもったいない、もっと印を目立たせて多くの人に座ってもらいたい」 ・町会パトロール協力者:「毎回パトロールの時に椅子に座ってみるようにしている」、「パトロールのエリアは公園がなく休む場所がないので椅子があると助かる」 問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。 ・椅子があることで、外出しやすくなる。 ・椅子があることで、地域の中でつながりがもてる。 問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。 ・目に見える形で、住みよい地域の輪が広がっている。
その他	問8 自由意見 ・民生委員が聞いた地域の高齢者の声きっかけで活動につながったが、対象を高齢者に限定せず“だれでも”としたことで、年輩の松かさや若い松かさが並んで座るステッカーのデザインに結びつくなど、世代を超えて地域の人に呼びかけられる活動となった。